

京都府立図書館 特設展示

進化する技術と生命倫理

近年の科学技術の進歩はめざましく、特に生命科学の分野では「ゲノム編集」や「ゲノム解析」など遺伝子に関係した技術の発展が大きく注目されています。その一方で生命の根源にかかわるために倫理面での問題も深刻になっています。

今回は医療の分野を中心に生命倫理に関係する資料を集めました。進化を続ける科学技術と生命の関わりについて、この機会に考えてみませんか。

期間 平成30年1月5日（金）～3月21日（水）
場所 京都府立図書館 地下1階特設コーナー
(京都市左京区岡崎成勝寺町)

資料概要 資料の一部をご紹介します。

● 生命倫理を学ぶ

『よく生き、よく死ぬ、ための生命倫理学』

篠原 駿一郎／編 ナカニシヤ出版 (2009)

『基礎から学ぶ生命倫理学』 村上 喜良／著 勁草書房 (2008)

● 進化する生命科学技術

『CRISPR 究極の遺伝子編集技術の発見』

ジェニファー・ダウドナ／著 文藝春秋 (2017)

『絵でわかる遺伝子治療』

野島 博／著 講談社 (2014)

● 技術と生命倫理

『ゲノム編集を問う』

石井哲也／著 岩波書店 (2017)

『生命科学の欲望と倫理』

櫛島 次郎／著 青土社 (2015)